

目黒区・中国北京市東城区・韓国ソウル特別市中浪区

三区間交流事業

実施報告書

(令和5年度)



令和6年1月

目黒区

【目 次】

| | | |
|----|-----------|---|
| I | はじめに | 1 |
| II | 三区間交流事業 | |
| 1 | 目的 | 2 |
| 2 | 主催者 | 2 |
| 3 | 日程 | 2 |
| 4 | 参加者の構成 | 2 |
| 5 | 概要 | 3 |
| 6 | 参加生徒アンケート | 6 |
| 7 | まとめ | 7 |
| 8 | 参考・資料 | 8 |

I はじめに

目黒区と北京市東城区との交流は、昭和54年に東京都が北京市と友好都市の提携を結んだことから、2年後の昭和56年に当時の目黒区長が北京市を訪問、その折、当時の北京市崇文区（現在の東城区）を訪問したことがきっかけで、崇文区と目黒区との交流が始まりました。

その後、平成3年に崇文区と目黒区は友好都市協定を締結したことにより本格的な交流が始まり、相互に友好交流団を派遣するなど交流を推進してきました。また、平成22年に崇文区と隣接する東城区が合併したことに伴い、平成23年に東城区と目黒区は改めて友好都市協定を締結し、この間も目黒区議会の訪中、両区の児童・生徒による書画作品展の開催や小学生による年賀状交換など様々な交流を続けてきました。

一方、目黒区とソウル特別市中浪区との交流は、崇文区と中浪区が友好都市関係にあることから、平成22年に中浪区から目黒区に対して友好交流要望があり、その年に相互に代表団が訪問するなど交流が始まりました。平成25年には、「友好増進及び交流協力覚書」に調印し、両区の小学生による賀状の交換を開始したほか、平成26年には、目黒区スポーツ交流団が中浪区を訪問してバレーボールの交流試合等を行うなど、交流を推進してきました。

東城区と中浪区との交流推進に向けて、平成27年7月には東城区長及び人民代表大会常務委員会主任から招聘を受け、区長、議長をはじめとした目黒区代表団が文化・芸術、教育、スポーツなどの分野で様々な交流の発展を目指していくため、東城区を訪問しました。その際、目黒区長から当時の張 家明（ジャン ジャミン）東城区長に対して、中浪区も含めた三区間での青少年同士の交流ができないかと提案を行い、東城区長から前向きな回答を得ました。

その後、平成28年7月に東城区で行われた三区による実務者協議等を経て、翌平成29年7月に東城区において、目黒区・東城区・中浪区の三区による第1回の三区間交流事業が実施されました。青少年の交流種目としてバスケットボールが採用され、三区の中学生がスポーツの試合を行い、また文化交流や同じテーブルで食事を共にすることで、草の根の友好交流が実現できました。

平成30年7月には、目黒区が開催区として、東城区、中浪区の中学生等を招き、第2回の三区間交流事業を実施しました。バスケットボールによるスポーツ交流、茶道や剣道の体験などの文化交流を実施しました。

その後、平成31年4月に中浪区において、第3回目の実施に向けて三区による実務者協議及び意見交換が行われ、開催日程や交流内容等について確認を行いました。

こうした経過を踏まえ、令和元年7月23日から26日にかけて、中浪区において第3回目となる三区間交流事業を実施しました。バスケットボールによるスポーツ交流のほか、工芸体験や市内の視察などを通じて交流しました。

令和2年及び令和3年は新型コロナウイルスの感染拡大により、交流事業の実施を見送りましたが、令和4年度はオンラインでの動画交換を通じた交流を実施しました。

そして令和5年度には前年度の動画交換に加え、ライブでのオンライン交流を実施しました。本報告書はその様子を記録したものです。

Ⅱ 三区間交流事業

1 目的

友好都市である中国北京市東城区及び韓国ソウル特別市中浪区との継続した友好交流を推進するため、次代を担う子どもたちによる交流事業を実施する。

2 主催者

目黒区・中国北京市東城区・韓国ソウル特別市中浪区

3 日程

| 月日 | 時間 | 内容 | 場所 |
|--------------|-----------------|---------------------------------------|-----------------------|
| 7月24日 (月) | 9:00～ 12:00 | (1)全体顔合わせ、オリエンテーション (2)取材内容企画、現地下見 | 総合庁舎別館5階 国際交流協会会議室 |
| 7月26日 (水) | 9:00～ 12:00 | 取材、動画撮影 | ①自由が丘 ②区内寺社3箇所 |
| 9月15日 (金) | 16:30～ 18:00 | (1)制作動画及び交換動画視聴会 (2)ミニ語学講座 | 総合庁舎別館5階 国際交流協会会議室 |
| 9月20日 (水) | 17:00～ 18:00 | オンライン交流会 | 総合庁舎本館4階 特別会議室 |

<参考> 経費負担

動画制作やオンライン会議開催に係る費用など事業実施に係る費用は各区が負担

4 参加者の構成

(1) 参加生徒

目黒区内中学校第2学年生徒22名

| 学校名 | 氏名 | 参加グループ |
|-----------|--------|---------|
| 目黒区立第七中学校 | 江原 大輔 | レジェンダーズ |
| 目黒区立第七中学校 | 中村 怜音 | レジェンダーズ |
| 目黒区立第七中学校 | 林 龍太郎 | レジェンダーズ |
| 目黒区立第九中学校 | 今泉 虹遥 | レジェンダーズ |
| 目黒区立第九中学校 | 大塚 桃之介 | レジェンダーズ |
| 目黒区立第十中学校 | 植田 蓮 | 自由が丘 |
| 目黒区立第十中学校 | 鈴木 悠仁 | 自由が丘 |
| 目黒区立東山中学校 | 小田山 直生 | レジェンダーズ |
| 目黒区立東山中学校 | 川口 諒 | レジェンダーズ |
| 目黒区立東山中学校 | 神崎 沙 | 自由が丘 |

| | | |
|-------------|--------|---------|
| 目黒区立東山中学校 | 松岡 ちとせ | 自由が丘 |
| 目黒区立目黒中央中学校 | 井上 侑杏 | レジェンダース |
| 目黒区立目黒中央中学校 | 高濱 瑚南 | レジェンダース |
| 目黒区立目黒中央中学校 | 藤原 智花 | レジェンダース |
| 目黒区立大鳥中学校 | 有働 怜平 | レジェンダース |
| 目黒区立大鳥中学校 | 大石 颯 | 自由が丘 |
| 目黒区立大鳥中学校 | 大日方 理莉 | レジェンダース |
| 目黒区立大鳥中学校 | 熊木 蓮太朗 | 自由が丘 |
| 目黒区立大鳥中学校 | 小暮 真昊 | 自由が丘 |
| 目黒区立大鳥中学校 | 平田 優奈 | 自由が丘 |
| 目黒区立大鳥中学校 | 密山 誉 | レジェンダース |
| 目黒区立大鳥中学校 | 矢澤 優人 | レジェンダース |

(2) 事務局

勝島 壮介 文化・スポーツ部長
千田 美都夫 文化・交流課長
成毛 久雄 文化・交流課交流推進係長
香川 えり子 文化・交流課交流推進係主事

5 概要

(1) 第1日目 全体顔合わせ、オリエンテーション、取材内容企画、現地下見

- ① 日時 令和5年7月24日(月) 午前9時から午前12時まで
② 場所 総合庁舎別館5階国際交流協会会議室

参加生徒が初めて一堂に会し、グループごとに自己紹介を行いました。今回のグループは、自由が丘の街の魅力を探る「自由が丘」グループ(8名)と、めぐろ観光まちづくり協会のキャラクター「レジェンダース」の謎に迫るグループ(14名)の2つ。

講師から活動内容の説明を受けたのち、タブレット端末撮影時にうまく撮影するコツや動画の構成を考えるポイントなどを教わり、グループごとに相談しながら取材時の質問を考えたり、役割分担を決めたりしました。現地下見を通じて取材のイメージができてきたところで1日目は終了となりました。

(2) 第2日目 取材、動画撮影

- ① 日時 令和5年7月26日(水) 午前9時から午前12時まで
② 場所 自由が丘及び区内寺社各所

グループごとに分かれてインタビュー取材や動画撮影を行いました。

ア 自由が丘グループ

自由が丘グループは欧州風の街並みやスイーツスポットを撮影したほか、普段は入ることのできない「丘ばちプロジェクト」の養蜂場所にて見学を行いました。防護装備を着用した

り、巣蜜を間近で目にしたりと非日常の刺激的な体験をしました。

インタビューでは自由が丘商店街振興組合の中山事務局長に街の歴史や丘ばちプロジェクトの取り組みについて伺いました。スイーツの街の象徴ともいえる自由が丘スイーツフォレストでは齋藤さんにお話を聞き、リニューアルで生まれ変わった姿を目にして新たな魅力を知ることができました。カメラの前での食レポにも挑戦し、取材と撮影を通じて様々な体験をした1日となりました。



イ レジェンダーズグループ

レジェンダーズグループはバスで移動しながら「レジェンダーズ」キャラクターのモデルとなった像がある区内3箇所の寺を回りました。大圓寺では「とろけ地蔵」の石像、蟠龍寺では「おしろい地蔵」、そして五百羅漢寺では「猿王像」と「麒麟像」について、住職などのお寺のかたに話を聞きました。

暑い中でも熱心にお寺のかたに話に耳を傾ける姿が見られました。また、お寺のかたの話にあわせて動画で挿入する、境内の風景や石像などの映像素材集めに取り組み、実践を通じて動画撮影の手法を学びました。



(3) 第3日目 制作動画及び交換動画視聴会、ミニ語学講座

① 日時 令和5年9月15日(金) 午後4時30分から午後6時まで

② 場所 総合庁舎別館5階国際交流協会会議室

夏休みを終えて久々に参加生徒が集い、完成した目黒区の制作動画（2本）と東城区（2本）、中浪区（1本）から送られてきた動画を視聴しました。

自分たちで制作した動画を照れたり、得意げにしたりしながら鑑賞し、活動を振り返りました。相手国の動画が上映されると、初めて見る街の風景や外国語を話す様子に興味深く見入り、周囲の生徒と感想を言い合いながら楽しんでいました。



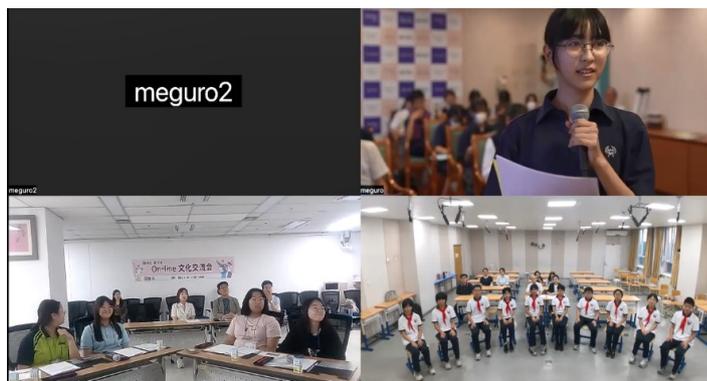
動画視聴後は中国語及び韓国語通訳2名の講師によるミニ語学講座が行われました。挨拶の基本フレーズを全体で確認したほか、自分の名前が外国語で書かれた紙を手に発音の仕方を学びました。講師の話聞きながら懸命にメモを取る姿が印象的でした。

（4）第4日目 オンライン交流会

- ① 日時 令和5年9月20日（水）午後5時から午後6時まで
- ② 場所 総合庁舎本館4階特別会議室

三区間交流事業史上初のオンラインライブ交流は目黒区生徒の司会進行により行われました。

まず、各区5分で参加生徒が自己紹介を行い、互いの国の言葉で挨拶などを交わしました。目黒区の生徒は自分の名前が相手国の言葉で書かれた紙を掲げながら一人ずつカメラの前で発言しました。ミニ語学講座で学んだ成果を発揮して堂々と話す姿が見られました。



つづいて、お互いの制作動画を視聴した感想を伝えあいました。各区の動画を通じて、「相手の街や文化について興味を持った」「いつか行ってみたい」といった声が聞かれました。

少しずつオンラインでの交流に慣れてきたところで、交流ゲームとして連想ゲーム（ジェスチャーゲーム）を行いました。出題者となった生徒は、与えられたお題を動きだけで表現し、回答者の他二区で競い合って回答しました。正解発表後には三区の言葉でそれぞれ発音を教え合い、共通点と違いをともに実感できる時間となりました。最初は緊張気味だった生徒たちも、時間の経過とともに笑顔が見られるようになり、活き活きと参加していました。



6 参加生徒アンケート（回答数：15名）

（1）一番楽しかった企画や印象に残っている企画とその理由

ア 街での動画撮影（6件）

- ・散策する中で街の新しい魅力に気がつくことができた
- ・撮影を通して目黒区の知らない魅力について知れた
- ・目黒の文化に触れることができた
- ・みんなで話しながら撮影したのが楽しかった
- ・他の学校と仲良くなった
- ・新鮮で面白かった

イ オンライン交流会（5件）

- ・オンライン上だったけれど、自分の国とは異なる地域の同じ学年の子と交流ができて、言葉の壁があってもこんなに楽しく会話やゲームができて嬉しかった
- ・違う国の人と接することができて新鮮だった
- ・事前に学んだ知識を使い会話ができたため、達成感を感じた
- ・アクティビティが面白かった
- ・他の言語で通じなくても頑張って伝えようとしたところが楽しい

ウ ミニ語学講座（4件）

- ・知らない言語が学べて楽しかった。自分の名前を中国語でどのように言うのかを知れて良か

った

- ・韓国語を勉強しているから
- ・普段教わることのない中国語や韓国語を学べて楽しかった
- ・動画撮影のグループ関係なく、色々な人と交流することで楽しかった。また、今まで学ぼうとしてこなかった言語を学ぶことができ英語以外の言語も勉強してみたいと感じることができた

(2) オンライン交流会の感想（抜粋）

- ・ジェスチャーなどをして交流を深められた。今度は通訳なしである程度の交流ができるようになりたい。
- ・他の区との交流はとても面白くジェスチャーゲームも盛り上がってとてもいい交流会だったと思う。
- ・中国、韓国はかなり身近な国ではあるけれど、交流をするまでは街の様子や文化などはあまり知らなかったため興味深い体験ができた。
- ・とても時間がなくもう少しほかのゲームや、会話をしてみたかった。
- ・オンラインでは無く直接あうほうが良いと思う
- ・ジェスチャーゲームが楽しかった。一人一人の顔がカメラから遠かったからどんな子がしゃべっているのかとかが少し分かりにくかった。

(3) 三区間交流事業全体の感想（抜粋）

- ・意識的にやってみようと思わなければ、街の魅力や、外国の同年代の人と関わる機会はないので、いい経験になった。
- ・中国や韓国は勿論、目黒区のことについても沢山しれて嬉しかった。
- ・オンライン交流でのジェスチャーゲームは盛り上がってとても楽しかった。
- ・この短期間で友達が増えて嬉しかった。
- ・ふだん関わらない人と交流することができてよかった。
- ・目黒の文化について深く学べた。
- ・来年もやりたい。
- ・初めてのことが多くすごかったのしかった。この交流を色々なことに活かしていきたい。
- ・応募するときにはとても緊張していた。実際に他校のみんなと交流してみると新しい発見があり、本当に楽しかった。みんなで一体になって進めることの大切さを学ぶことができ良かった。また、こういった機会があれば参加したい。
- ・目黒に来てもらったり、中浪区、東城区に行き直接話すのもいいけど、オンラインの方が気楽で良かったかなと思った。
- ・今度は、実際に会ってみてもいいのかもしれないとおもった。ただ、リモートでも深く関わることができたと思う。全体的にたのしかった。
- ・他国の様子や文化を知ったり、親交を深められたりして楽しかったが交流が1日しかなかったため終わり方がとても呆気なく思えた。今度はもっと何日間かにわたって交流をしたい。
- ・やはり今度は現地に行き対面で会話やジェスチャーゲームなどしてみたいと思った。

7 まとめ

コロナ禍を乗り越えて実現した令和5年度の三区間交流事業は、屋外での動画撮影や初めての

試みとなるオンラインライブ交流などもありましたが、大きなトラブルもなく無事に終わることができました。事業全体を通しては、街中での取材活動やインタビュー、語学講座など様々な体験の機会を提供することができました。

現地で開催する交流形態ではないことから参加生徒の減少が危惧されましたが、22名もの生徒から応募があり、一人ひとりが積極的に活動する姿が見られました。事業実施後には「短期間で友達が増えた」「初めてのことが多く楽しかった」といった感想が寄せられ、限られた時間の中でも人との出会いや発見、学びが得られたのではないかと考えています。

活動全体において、共通点や違いを発見する視点や互いをよく知ろうとする姿勢が多く見受けられました。今回のこのような経験を今後の学校生活や国際交流をはじめとした様々な分野で活かしてくれることを願っています。

なお、三区間交流事業については、次年度以降も実施していくことを三区で確認したところで、より一層充実した内容となるように引き続き協議しながら取り組んでいきます。

8 参考・資料

参考 実務担当者によるオンライン会議

- ① 日 時 令和5年9月6日（水）午前10時から午前11時まで
- ② 場 所 オンライントークルーム
- ③ 参加者 【東城区】 巖外弁総合課長
【中浪区】 金ヒョンコン（김형근）体育振興課長ほか6名
【目黒区】 文化・スポーツ部長、文化・交流課長ほか2名

ライブでのオンライン交流会実施に先立ち、三区の実務担当者による意見交換会を行い、オンライン交流会の進め方や翌年度の実施方針について話し合いました。

オンライン交流会の進め方については、交流ミニゲームとして実施する「ジェスチャーゲーム」のルールや各区通訳の仕方、発言方法などを確認しました。

令和6年度の三区間交流事業については、実施種目案としてバドミントンが提示され、対象学年や概ねの実施時期について各区の意見を表明しました。2024年2月頃に各区代表によるオンライン会談を実施して正式に実施内容を決定することを確認しました。また、実施内容の詳細についてはホスト国となる中浪区を中心に、引き続き三区で協議していくこととなりました。

資料 各区制作動画のサムネイル画像

<目黒区>



< 東城区 >



< 中浪区 >

